

昭和47年成人式

昭和47年1月15日午前9時30分

(受付は午前9時から)

場所 水巻町町民会館

※案内状が届いていない人は、地区公民館長さんまで連絡下さい。

水巻町報

1月1日 (1972)

■ No. 280 ■

毎月一回各家庭に配布



発行所 福岡県遠賀郡水巻町役場 発行人 伊藤衛門 編集人 企画管理室調査資料係 印刷所 冷牟田印刷合資会社 電話(代表) 0536

年頭之辞



総合計画にもとづく 長期的町づくりに努力

あります。

文化、福祉など町制全般の発展計画を、本年はエネルギー革命の潮が本町にも押し寄せ、基幹産業である日炭が閉山し、町全体に大きな影響をあたえたが、町議会及び諸事業遂行にあたっては財政上、国県補助の確保に最大の努力をするのは勿論であります。基本になりまます。税収の確保については皆様のご協力をまづ以外にはありません。

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。

昭和四十七年の年頭にあり、皆さんのご多幸をお祈りすると共に心を新たに、町づくりに完成させ、町づくりの長期的展望をつくり、産業、教育、



昭和四十七年 元旦

水巻町

町長 伊藤衛門

勤労者の町づくりを推進

おめでとうございます。

私は昨年春の統一地方選挙後に招集された町議会において、はからずも再び議長に就任しました。激動の一年でありました。本町経済の中心でありました日炭の閉山は、日炭従業員の生活に大きな影響をあたえました。これはひとえに皆様の御支援、御協力のためと心か



町民の皆さん、明けましておめでとうございます。

昭和四十七年 元旦

水巻町議会

議長 入江 誠

激動する教育行政に対処

以って、昨年十月二十九日、当時の教育長を拝命致しましたが、浅学非才にてよくその重責に耐え、御期待にこたえ得るかどうかを案じております。



町民の皆さん、明けましておめでとうございます。

年頭に当たり皆様と共に昭和四十七年の新しい門出を祝い、お互いにその多幸を祈りたいと思います。さて、私こと不肖の身を

工学科光吉教授に日炭跡地利用計画を依頼しておりますが、この計画は、古賀、樋口、猪熊を一線に結ぶ北部開発道路を整備すると同時に足元道路の舗装を財政の許す限り援助を仰ぎ、県営住宅、或は公団等の住宅を建設して住宅確保を行いたいと思っております。又、老人や子供の施設についても計画しております。

教育文化施設事業としては、昨年に引き続き猪熊小学校防音校舎及び二小学校の防音設計に着手するはこびとなっており、新水中についても体育施設整備を計画しております。

本年は日炭閉山によって残された鉱害問題をはじめ職員の住宅問題、日炭跡地の開発問題等数多

面を中心とした勤労者の町づくりの第一歩を踏み出す重要な年であり、希望に満ちた新春を迎えるにあたり皆様の御理解と御協力をお願いし、新年のご挨拶と致します。

性的啓蒙と非行防止、進路指導、特殊教育に対する啓蒙等の外、更に社会教育面においては、公民館らうと言います。

活動と生涯教育の確立、青少年の健全育成、社会教育の振興、婦人会やPTA活動の充実強化等が、この建設と教育課題解決の道を歩き続けなければならないと思

これ等の諸問題はすべて町民の皆様と一体になって解決していかねばならないことから、決して容

易なことではありません。又、一朝一夕にしてその教育効果を期待できるものでもありません。

昭和四十七年 元旦

水巻町教育委員会

教育長 柴田正生

県立高校普通科の 通学区改正に対処して

教育委員会

県教委の答申をうけた県教委 郡協議会を開催し次の様な要請書
は、昭和四十六年十月二十九日付
(本町協議会と同)を作成し、
四十七年度より実施予定の
十一月十日県に対して陳情
新しい学区制案を決定しました。
この改革案によると、当水巻町は
県下十五学区中の第四学区に属
し、遠賀郡中関市の外北九州の八
幡区、若松市の全中学校が、東筑
高校の外八幡南、八幡中央、八幡
集、若松の各高校と直方高に受検出
ることになるのであります。この
案によると各都市町村によってそ
れぞれ利害得失があるため、県教
委としても一般の声をきくべく、
十一月十二日までを期限として
意見の陳情を求めて来ました。
本町では独自の立場で、十月四日
すでに町行政の各機関をあげて、
現状堅持の反対陳情がなされてい
るのではありませんが、当教育委員
はここに新しく高校普通科通学区
問題協議会(教委・町執行部並び
に議会・文庫委員会・中学校PTA
の各代表・中学校長全員)を組織
し、十一月五日会合を開いてその
意見を集約しました。更に十一月
八日には、郡出身の県議を交えた

5 入学者選抜については、内申
書を充分重視すること。
教育次長、学校教育課長への陳
情を引きつづき、当日午後は助信
県議の幹事によって県議会文教
委員会にも陳情することができま
した。こうした陳情は県下におい
て、三百件をはるかに超えたのであ
りますが、県教委は僅かな手直しだ
けで殆ど当初の方針を変えず、十
一月十五日の委員会を決定
してしまつたのであります。これ
によれば、本町関係では東筑高校
に一学級増、直方高校は臨時的に
受験可能というだけで、今までの
陳情活動の果しは極めて僅少であ
つたと言わざるを得ません。そこ
で十八日再び郡協議会の開催を要
請し、現状の分析と今後の対策を
協議したのであります。この改
正案は県教育委員会規則による専
決事項であつて議会の議決を必要
としないものであるからには、問
題はすでに行政段階に移行したと
見なければならず、今後は遠賀郡
に新高校設置の方向で、郡内町長

会議長を中心とした最も効果的
且つ強力な組織によって、新局面
に沿つた運動を展開すべきである
ことを確認しました。そこで従来
これに對し県内には不参加の都市
もあつたようですが、本町では基
本的には強行反対延期の線ではあ
りませんが、行政ルールには従わね
ばならず、更に実施される以上生
ながら改正案の延期、有利条件の
獲得をすべて断念したのではあり
ません。二十日には再び郷土出
身県議のお世話によって、郡内各
加さるるはもとより、中学校にお
ける執行部、議会を含めた関係団
体の代表多数によって、議文交
せて、すでに着々と具体的な進路

日曜当番医

診療時間 9-17時

1月2日	伊藤医院(皮膚科)	⑥69-0527 頃末
9日	入江医院(外科)	⑥60-3320 頃末
16日	渡辺医院()	⑥69-2616 頃末
23日	楠本医院 (内・小児科)	⑥69-0385 中関市大膳橋
30日	坂口医院(婦人科)	⑥69-2943 頃末
2月6日	白土医院 (内・小児科)	⑥69-0553 樋口
13日	楠本医院()	⑥69-2873 頃末
20日	永松医院(耳鼻科)	⑥69-0386 頃末
27日	森田医院 (内・小児科)	⑥69-0616 樋口

都市計画準備調査

健康的な町づくりに

調査期間
一月-三月

国の宝よ 地下千尺に
男度胸のはな唄まじり
ドント掘りだせ〜
黒ダイヤ (水巻音頭)

新任の民生児童委員さる

十二月一日附をもって全国の民
生児童委員が改選され、当水巻町
の民生児童委員として左記の方々
が新任されましたのでお知らせし
ます。

氏名	担当地区	山本 憲昭
入江 道彦	立屋敷・下二・下三	吉田ノ一
山崎 勇	町住、入江興産住宅	吉田ノ二
町住 伊佐座・上二・上三	三吉ノミ子	吉田ノ三
町住・みずほ団地・	三吉ノミ子	吉田ノ三
林住宅	三吉ノミ子	吉田ノ三

十二月一日附をもって全国の民
生児童委員が改選され、当水巻町
の民生児童委員として左記の方々
が新任されましたのでお知らせし
ます。

氏名	担当地区	山本 憲昭
入江 道彦	立屋敷・下二・下三	吉田ノ一
山崎 勇	町住、入江興産住宅	吉田ノ二
町住 伊佐座・上二・上三	三吉ノミ子	吉田ノ三
町住・みずほ団地・	三吉ノミ子	吉田ノ三
林住宅	三吉ノミ子	吉田ノ三

おじさんごころうさん。

第三保育園々児第四分団を訪問

いつも町民の奉仕者として、犠
牲的精神のうえにたつて、日夜私
たちの生命、財産を守つてくれる
消防団に感謝して去る十一月二十
四日に水巻町第三保育園の園児全
員が古賀区にある第四分団を訪問
し花束とリボンを送り、



つつしんでおくやみ
もうしあげます
つぎの方々から香典返しに
かえ多額の金品を社会福祉協
議会にご寄贈いただきました。
ここに厚くお礼申し上げます。
また、故人のご冥福
をお祈りいたします。

故川崎直隆殿(古賀区)
故武野タマ殿(下二)
故武野タマ殿(下二)
故光末キヨ殿(猪熊)
故小田ユキノ殿(机)
故行正アサノ殿(机)
故勝原 知殿(上二)
藤原宏英殿

このことについて、いかに対処
すべきか本町としても数
年、計画的な町づくりに鋭意努力
してきた訳ですが、今回、建設省
並に県から計画的な都市づくり
の資料作成の指示がありました。
で、町の実態を把握し、一層把握し、
検討するために基礎調査を一月
から三月にかけて調査員の戸別
訪問による実態調査を行います。
ので、前にも述べましたように健
康な生活環境づくりのための調査
に、住民の皆様のご理解と協力
をよろしくお願い致します。
尚、調査内容については次の通
りです。

イ 家族数……人口密度
ロ 建物用途……建物の種類
ハ 土地利用……宅地、田、畑等
ニ 建物敷地面積……家敷の広さ
ホ 建物面積……建物の広さ

戦傷病者補装具支給
(修理)及び更生医
療の巡回相談

戦傷病者補装具支給(修理)及
び更生医療の巡回相談を次のよう
におこないますので該当者の方は
「印鑑」、「戦傷病者手帳」を持
参ください。

一、日時 昭和四十七年一月二十
四日 十時-十五時
二、場所 宗像町役場公舎
但し義眼、眼鏡の部は一月二十
七日飯塚市役所 一時集合